	平成し	, O + 1	文大心可见	9	(水色形)			,	1 1 -	尹未		
事務事業の概要												
1	1 事務事業名 住環境整備事業											
2	担当部	『名	教育委員会事務	务局	担当課名	今井	井町並保存整備事	務所課長	名	日裏	康夫	
			目指す都で	市像	7	快適な	生活を育むる	ま ち				
3	総合計			策	9			<u>ニューーー</u> 集落景観の保	<u></u>			
	位置了	づけ	今後の取		<u> </u>	延又以		木石泉既り入	<u> </u>			
					0 0 0	☆ □ + -	: 1 0 75 10 10 7	<u> </u>				
4	総合戦略の					2-2 新たな人の流れや交流を増やす						
	位置づけ		基本的方		2	米訪者	の増加を図る	<u>క</u>				
	行革大	MAD (MA)	重点項目	∃								
5	位置つ		項目									
	,— _ =		改革名									
6	予算事	業名										
7	事業開始	年度	平成	5	年度		事業終了年	度 平	成 36	年度		
					事	務事業の	の実施					
8	対象											
9	事業の 目的										ハのあるま	
	改善内	2	1 拡大する	3 2月	見直しながら	5続ける	3 縮小する	3 4 廃止又	は休止する	5 5	完了する	
10	容を踏まえた。今後の方向性	ては平	井町地区における住環境整備を推進するため、電線の地中化を実施している。現在の事業計画についは平成30年度までであるが、今後変更し平成36年まで延伸する予定である。事業の延伸により今町の主要部分の地中化が完了し、歴史的な町並み景観の保全が見込まれる。									
11	事業の 内容 (手法)	し、平 環濠の	5年度に事業 成20年度か 復元、駐車場 継続的に事業	らは東地 等の整備	区の整備を	を実施し	できた。平成 事業を完了す	28年度からいる予定である。	は、西地区の電線の地域	の整備を	を実施し、 ついては、	
		拡充 (予算打	3 O年度からの で・変更内容 計置を必要とする のに限る)		成30年度は、平成23年度から実施している地中化の最終年度にあたり道路の美 実施する。また31年度から実施予定の地中化(第7期)の詳細設計業務委託を予 いる。							
	指標の		DIF (241)	`	29	年度	30年度	31年度	32年度			
	推移		名称(単位)	(総計	目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)			
12	成果指標									/	∖	
I		住 標培	事業の進捗率		C	2	97	98	98		\	
	活動指標 ——					iO	66	66	66		\	
			中化整備率								\	
			単位:千円)	`]予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		\	
	歳出(直接事業費)(a)					049	51,323	83,129	82,56	6	\	
13	歳入(b)		受益者負担額)	0	0	0		\	
	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		国県補助金等その他		24,9	931	22,049	37,950	37,65	O	\	
	(a)	- ((b) = -8	財源	34,	118	29,274	45,179	44,91	6	\	
14	増額理由	S i	継続事業									
備 考												
総合戦略の位置付けは、3-2-2、②にも該当												

	十八八	0 46	文 大心可坚	<u> </u>		尹未り		())	*(正忠)	尹未 /		
事務事業の概要												
1	事務事	業名				町並保存事業						
2	担当部	『名	教育委員会事務局		担当課名	今井	中町並保存整備事	務所 課長	名	日裏 康夫		
			目指す都で	市像	7	快適な	生活を育む	まち				
3	総合計		施	策	9	歴史的	町並み及び質	集落景観の保証				
	位置つ	ハノ	今後の取	/糸目								
	総合戦略の		基本目標		3-2-4	安小儿	で便利に募り	らけるまちを	 つくろ			
4	位置つ		基本的方				安心して便利に暮らせるまちをつくる 歴史と風土を活かしたまちづくり					
			重点項目		<u> </u>							
5	行革大統	綱の										
5	位置了	づけ	項 目 。 改革名									
_		** />	以中名			^++m-++/ <i>+</i> -	- 					
6	予算事:		077.F			今井町並保存事業						
7	事業開始	洋度	昭和	59	年度		事業終了年		.成 —	年度 年度		
						務事業						
8	対象	今井町	重要伝統的建筑	造物群保	存地区内的	こおいて	、修理修景事	業等を実施し。	くうとする者			
9	事業の 目的	重要伝統的建造物群保存地区に選定されている今井地区において、伝統的建造物群の保存に対する住民 意識の向上を図り、文化財の保存と継承及び景観保全に向けた取り組みを進める。また、地域住民と行 政が連携協力することにより、町並み保存と住民生活が共に成り立つまちづくりを進める。										
	改善内	2	1 拡大する	3 2 見	直しながら	5続ける	3 縮小する	3 4 廃止又(は休止する	5 完了する		
10	容を踏まえた。今後の方向性	並みを	井町内においても、他の地域と同様に少子高齢化や空き家の増加等の問題があり、今井町の歴史的町みを維持・継承していくうえでの障害となっている。この問題を解消するためには、地域の活性化が可欠であり、そのために産学官民が連携し、魅力あるまちづくりを推進する。									
11	3 - 1	を継続 者等と み保存	して実施し、 協議し、現状変	まちなみ 変更の許 か、保存	景観の保存 可、補助st へ向けた※	字を促進 金の支出 舌動を行	する。地区内 は等を適切に実	の建造物の保存 施し、歴史的是	ァ・修理等に 景観を保存す	ための広報活動 ついては、所有 る。また、町並 体や関係機関と		
	(J .\(\overline{\overline	拡充 (予算指	3 O年度からの E・変更内容 措置を必要とする のに限る)	平成30 である。	年度におい	ては、イ	云統的建造物群	保存事業補助金を	を利用した事業	きが増加する予定		
	指標の		夕折 (兴上))	29	年度	30年度	31年度	32年度	\		
	推移		名称 (単位)	J	(総計[目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)	$\exists \setminus$		
12	成果指標	修理物件数	做/伝統的建造物物件	数(504件	^{‡)} 6	62	64	66	69	 		
	(1)	伝統的	 建造物等の修理	里物件数		16	326	336	346	 \		
	活動指標 ②		元に147日マンプタは777日女				320		0.10	\		
		推移 🕧	当位・壬四)		(当紅]予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)	-		
		~の推移 (単位: 千円) 歳出(直接事業費) (a)				437	62,927	62,944	62,962	\		
13	-				00,	+01	02,021	02,544	02,302	\		
13	歳入(b)	F	受益者負担額		E7.	000	26,000	26,000	26,000	\		
			国県補助金等そ	·	000	36,000	36,000	36,000	─ \			
		— (2知源	26,	437	26,927	26,944	26,962	\		
14	増額理由	Ĭ	継続事業			t T	=					
					備	1	考					

事務事業の概要													
1	事務事	業名				今井町公共施設維持管理事業							
2	担当部	侶	名 教育委員会事務局 担		担当課名	今井	井町並保存整備事	務所 課長	名	日裏	表夫		
			目指す都市	像	7	快適な生活を育むまち							
3	総合計		施策		9	歴史的町並み及び集落景観の保全							
	位置つ	ハフ	今後の取約	В			3 3 2 7 1 7 1 7	100000000000000000000000000000000000000	<u> </u>				
			基本目標		3-2-1	会小江	安心して便利に暮らせるまちをつくる						
4					4		女心して使利に香りせるようをうくる 歴史と風土を活かしたまちづくり						
			基本的方向	IJ	4	正文に独上で旧る ひにみつ ノマッ							
_	行革大	綱の	重点項目										
5	位置づけ		項目										
			改革名										
6	予算事					今月	町町並み施記						
7	事業開始	年度	は年度 昭和 一年				事業終了年	度	成 —	年度			
					事	務事業	の実施						
8	対象	今井町	来訪者及び地区	住民									
9	事業の 目的												
	_, ,,	2	1 拡大する	2 見	直しながら	続ける	3 縮小する	3 4 廃止又	は休止する	5 完了	'する		
10	改容まえ きる きる きる きん の性	もてな	内の公共施設は しを支える重要 施しながら、経	な施設	であり、糸	推持管理	関サの大幅な削	減は難しい。≦	今後は、施設				
11	事業の 内容 (手法)	理と修	来訪者及び地区・						建物及び機	械器具の	維持管		
		拡充 (予算打	ででである。 ででである。 は置を必要とする。 でである。										
	指標の		名称(単位)		29	年度	30年度	31年度	32年度	_\			
	推移		ロかく手位と		(総計	目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)	- \			
12	成果指標	来訪者	記帳者数	400	000	40000	41000	41000	 \				
	1	維持管	理費		112	297	12050	12135	12243	-			
	活動指標 ②									- \	\		
	0	推移 (単位:壬四)		(当初)予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)				
		コストの推移 (単位: 千円) 歳出(直接事業費) (a)					12,050	12,135	12,243		\		
13						962 D	0	0	0		\		
13	歳入(b)	-	受益者負担額)	U	U	U		\		
			国県補助金等その		200	40050	40.405	40040		\			
	(a)		b) = 一般則	小原	11,9	962	12,050	12,135	12,243	·			
14	増額理由	i	継続事業										
					備	Ī	考						

一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一														
事務事業の概要														
1	事務事	事務事業名					井まちなみ交流センター等施設管理運営事業							
2	担当部	侶	教育委員会事務局 担			イン は								
			目指す都市像		7	快適な	な生活を育むる	まち	<u> </u>					
3	総合計		施	衰	9	歴中的	り町並み及び	事落号観の保	 全					
	位置了	ソブ	今後の取			,	3 3 1 1 7 7 7 0 7	17,000,000						
	◇ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆		基本目標		3-2-1	会小江	で個利に草は	こけろまちを	つくろ					
4	総合戦略の 位置づけ		基本的方		4	安心して便利に暮らせるまちをつくる 歴史と風土を活かしたまちづくり								
	<u> </u>				4	歴文と風土を出り したようしくり								
	行革大	綱の	重点項目											
5	位置了		項目											
		-	改革名		2.11									
6	予算事					まちな	み交流センタ		費 ————					
7	事業開始	年度	平成	6	年度		事業終了年	度	☑成 ー	年度				
					事	務事業	の実施							
8	対象	今井町	来訪者及び地図	区住民										
9	事業の 歴史的町並みの保存の為、市民の文化、教養の向上を図るとともに伝統的建造物群に対する理解を深 目的 め、ふれあいと豊かな地域社会づくりに寄与することを目的とする。													
	改善内	2	1 拡大する	3 2 5	見直しながら	ら続ける	3 縮小する	3 4 廃止又	は休止する	5 f	記する			
10	容を踏 まえた 今後の 方向性	30年 できる	井まちなみ交流センターは、本年度より月曜日も開館し、来訪者の利便性が向上している。また平成 〇年度より今井西地区に新たな駐車場が整備される予定であり、更なる来訪者の増加を見込むことが きる。今後は今井まちづくりセンター・今井まちや館等の近隣施設の運用を見直し、相乗効果を生み すことで更なる利用促進と活用を図っていく。											
11	事業の 内容 (手法)	しても 館は体	ちなみ交流セン らうため、模型 験見学施設、(ないるが、今割	型や展示 主民活動	(等の設置か)の場として	や案内等 て活用す	学を実施してい する。また、ま	る。今井まちたちなみ広場は	づくりセンタ 駐車場とイ <mark>^</mark>	7	弁まちや			
	(子広)	拡充 (予算技	3 ○年度からの 〒・変更内容 昔置を必要とする のに限る)			より西地区に新たな駐車場が整備される予定のため、それに伴い維持管理費であるが、駐車場利用者増加による歳入も増収の予定である。								
	指標の		夕称(当片	_ 	29	年度	30年度	31年度	32年度	_\				
Ī	推移		名称(単位) 		(総計目	目標値)	(見込み)	(見込み)	(見込み)	\neg \				
12	成果指標	来訪者			400	000	40000	41000	41000) \	\			
		開館日	数			59	359	359	359		\			
	活動指標 ②		~											
	コストの	推移 (単位:千円)		(当初]予算)	(予算要求)	(見込み)	(見込み)		\			
	,	歳出(直接事業費)(a)				577	14,746	14,881	15,018	3	\			
13			型技事来員)(d) 受益者負担額			744	9,345	9,445	9,445		\			
	歳入 (b)				0, 1		5,040	0,440	5,440		\			
	(-)		b) = 一般	60	333	5,401	5,436	5,573		\				
1.1				別が	0,8)))	0,401	3,430	0,073					
14	増額理由	Î	継続事業		,	E	=							
					備	3	考							